

世界分布図センター所蔵外邦図 データベース化事業

1 はじめに

外邦図は、軍事的な目的などから、旧日本陸軍参謀本部陸地測量部（現在の国土交通省国土地理院）が作製・複製した日本以外＝「外邦」の地図です。外邦図の作製は日清戦争開始前の明治21(1888)年に始まり、その範囲は大陸別の小縮尺地図を除けば、北はアラスカ、東は米国本土の一部、南はオーストラリア、西はパキスタンやアフガニスタンの一部及びマダカスカルにまで及んでいます。作製は、日本の測量隊が公然とまたは極秘に測量して作製したものと、他国の測量機関が作製した地図を複製したものなどがあります。

これらの地図は、軍事的な機密性が高かったために記録が残されず、詳しい作製過程は不明な点が多くあります。また、外邦図の大半は、「秘」、「軍事秘密」などの扱いであったために、一般にはあまり知られない存在でした。



2 第2次世界大戦終戦と外邦図

第2次世界大戦の終戦時には多くの外邦図が東京神田の参謀本部分室に保管されていましたが、それらは連合軍により接收される可能性があり、またその前に処分されることも予測されました。

しかし、それらの外邦図は19世紀末から20世紀前半の貴重な資料として、研究や教育、その他の面で非常に価値の高いものであるため、接收や処分を危惧した数名の研究者が参謀本部の許可を得て、退避させることに成功しました。そして、これらの地図は1960年前後から整理され、東京大学や東北大学、京都大学、筑波大学、立教大学などの大学へ配られ現在に至っています。

3 世界分布図センター所蔵外邦図

岐阜県図書館世界分布図センターでは、平成9年度から貴重な地表の記録である外邦図の収集に努めて来ました。

年度(平成)	収集先大学名	収蔵枚数
9・10年度	東北大学	10,525
11・12年度	京都大学	1,780
13・14年度	東京大学	1,494
合計		13,799

注1：枚数には重複や欠落図幅が含まれます。

注2：上記以外に、個人寄贈の図が約100枚あります。

平成9・10年度の東北大学は、同大学理学部自然史標本館所蔵の外邦図を、同館が複数所蔵するものについては寄贈を受け、少数枚しかないものについては複製・ラミネート加工により当センターに所蔵しました。

11・12年度は京都大学総合博物館から、13・14年度は東京大学総合研究博物館から、それぞれ東北大学が所蔵していなかった地域や縮尺が異なる外邦図を抽出して借り受け、複製・ラミネート加工により所蔵しています。

なお、外邦図の収集は、平成15年度以降も欠落図幅を中心に収集・収蔵して行く計画です。

所蔵外邦図の主な国・地域と縮尺

平成15年2月28日現在

国・地域名	2.5万	5万	10万	20万	国・地域名	2.5万	5万	10万	20万
樺太	12	161			インドネシア主要部	8	907	138	7
朝鮮半島	9	638		64	インド		984		
中国・満州		530	508	62	ビルマ		459		
中国・北支	89	557		45	フィリピン		54	52	24
中国・南支	222	1,656	1,041		タイ				59
台湾	131	106		14	ハワイ諸島		60		
マレーシア		120	12	6	スマトラ島		109	278	

注1：表中の「2.5万」等は縮尺を表します。(例 2.5万=2万5千分の1)

注2：掲載は主な地域と縮尺のみで、収集先の合計枚数です。また、重複や欠落図幅が含まれます。

注3：詳しくは、インターネットホームページでご覧ください。